

概要

災害時には「かまど」として、通常は「ベンチ」として利用できるかまどベンチを子どもたちと一緒に作製しました。

取組内容

- 作製に当たり、建設業に携わっている住民の方に技術指導をお願いし、まず鉄筋とコンクリートでの基礎工事、その数日後にレンガの積み上げ、さらに約2週間後に「かまどを囲む会」（お披露目会）として炊き出しを行いました。
- 作製には、団地内に住む子どもから大人まで延べ約270人が参加しました。
- なお、公園への設置については、事前に佐伯区農林建設部維持管理課と協議し、許可を得ました。

参加者	・1日目 基礎工事 大人約20人、子ども約20人 ・2日目 レンガの積み上げ 大人約20人、子ども約30人 ・3日目 お披露目会（炊き出し） 大人約160人、子ども約20人
かまどベンチの概要	・カマド3連式、耐火レンガ造り ・間口2400×奥行600×高さ400(mm) ・天板は木製の塗装仕上げ
設置場所	美鈴が丘緑第二公園
作製費用	約11万4千円（レンガ、セメント等） ※うち10万円は市の補助金「『まるごと元気』住宅団地活性化補助金」により対応



災害時は「かまど」として使用



通常時は「ベンチ」として使用



ポイント

- ★ このかまどベンチ造りが子どもたちの団地での思い出になってほしい！そんな思いから、作製にはできるだけ子どもたちが参加できるようにしました。
- ★ 今後、防災訓練時に炊き出しを行うなど地域コミュニティの活性化にも役立てていきたいと考えています。